



クライアント 操作マニュアル

C00-03 クロス集計表画面

株式会社 エヌジェーケー

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社エヌジェーケーにあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されております。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社エヌジェーケーの登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記	C00-03_0
1.クロス集計について.....	C00-03_1
2.表組み画面.....	C00-03_2
2-1 基本操作	C00-03_3
2-2 特殊な画面構成要素	C00-03_5
◆期間日付の設定.....	C00-03_5
◆階層項目の設定.....	C00-03_6
◆計算式の追加.....	C00-03_7
2-3 予測値設定画面	C00-03_8
3.クロス集計表画面.....	C00-03_10
3-1 画面について.....	C00-03_11
3-2 主な機能.....	C00-03_13
◆データセレクトー.....	C00-03_14
◆条件集約	C00-03_16
◆対比計算	C00-03_17
◆条件付き書式.....	C00-03_19
◆ランキング(順位).....	C00-03_21
◆参照項目設定	C00-03_23
◆印刷/データ出力	C00-03_24

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント
DataNature Smart Personal :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

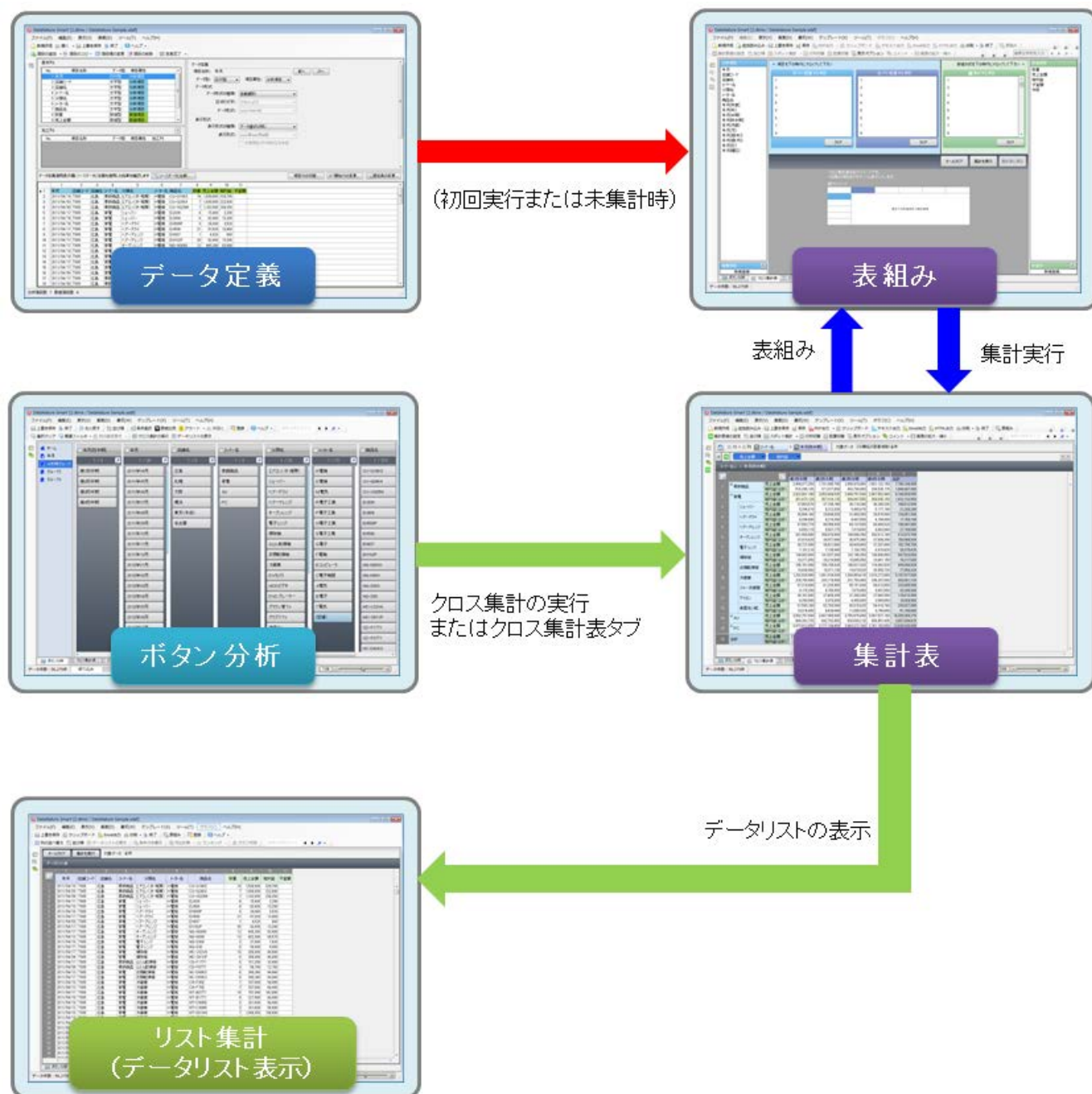
◆ 機能について

導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

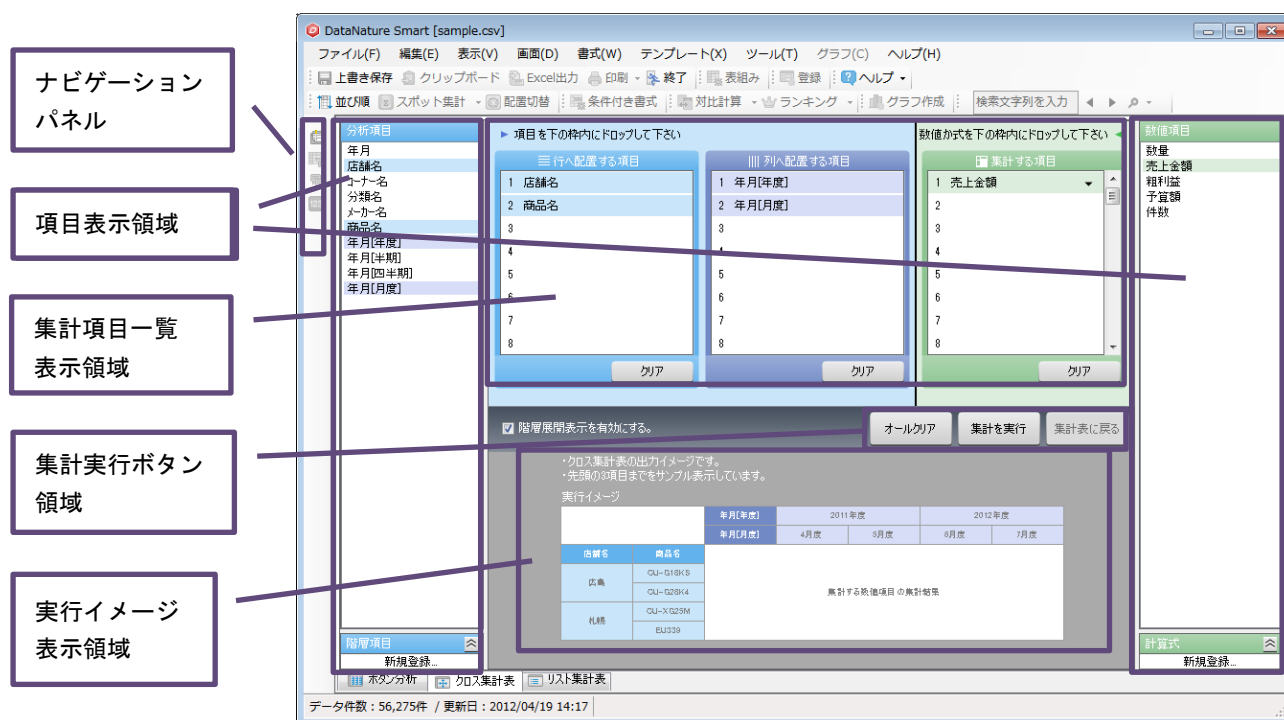
1. クロス集計について

クロス集計表は、集計表の構成要素を組み立てる「表組み」、集計した結果を表示する「集計表」の、2 つの画面で構成されています。

画面の遷移は次の通りです。



2. 表組み画面



表組み画面は、次の要素で構成されています。

■ ナビゲーションパネル

画面操作をサポートする機能アイコンが並んでいます。クロス集計画面の表組みでは、「テンプレート一覧」を利用できません。

■ 項目表示領域

集計表の構成要素となる「分析項目」、「階層項目」の一覧が左端に、「数値項目」、「計算式」の一覧が右端に表示されます。これらの中から集計表にしたい項目を集計項目一覧表示領域にドラッグ & ドロップして表を組み立てます。

■ 集計項目一覧表示領域

[行へ配置する項目]、[列へ配置する項目]、[集計する項目]があります。項目表示領域からドラッグ & ドロップした項目を表示します。

■ 集計実行ボタン領域

集計の実行や表示のクリアを行います。

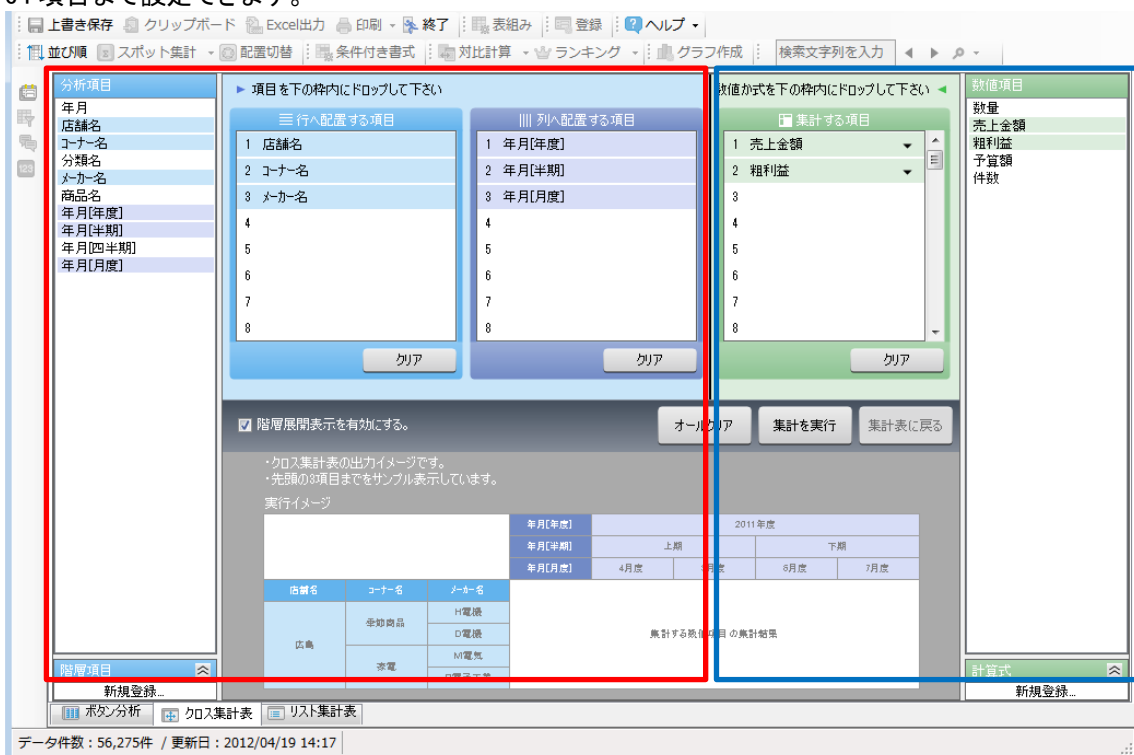
■ 実行イメージ表示領域

集計項目一覧表示領域の内容を基に、集計表イメージを最大 3 階層まで表示します。参照のみで操作はできません。

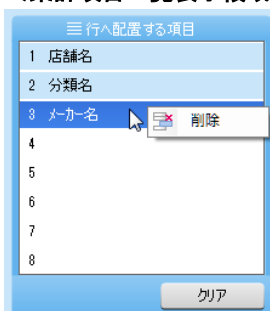
2-1 基本操作

データ定義画面のツールバー[定義完了]のドロップダウンリストから[クロス集計]を選択した場合には、この表組み画面で集計表の構成要素(行/列項目、集計項目)を組み立てます。また、クロス集計表から表組み画面に戻って、構成要素を変更することもできます。

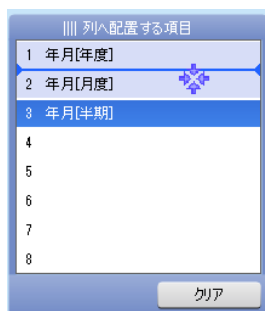
- 1 [分析項目]や[階層項目]一覧から、集計表の行/列に配置する項目を[行へ配置する項目]、もしくは[列へ配置する項目]にドラッグ&ドロップします。それぞれの2つ以上の項目を設定すると、ドリルダウン分析のための階層になります。行/列ともに最大8項目(階層)まで設定できます。
- 2 [数値項目]や[計算式]一覧から、集計に用いる数値項目を[集計する項目]にドラッグ&ドロップします。最大64項目まで設定できます。



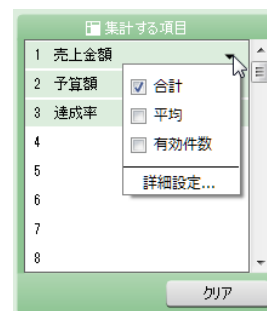
<集計項目一覧表示領域>



■項目を対象から外す
項目上で右クリックして[削除]するか、元の一覧へドラッグ&ドロップして戻します。一括で外す場合は[クリア]ボタンをクリックします。



■項目の並び順を変更する
対象項目をドラッグして、配置する位置に青線が表示されたらドロップします。



■集計方法の設定
数値項目の横に表示される[▼]ドロップダウンリストから、集計方法を設定できます。
※クロス集計表画面に移った後に調整することもできます。

2-2 特殊な画面構成要素

表組み画面でクロス集計表の構成要素を組み立てます。

構成要素一覧

分析項目	文字属性の項目を一覧表示します。【例】店舗名・商品名
	自動日付/自動時間項目: データファイルの日付型/時間型データを基に日付期間項目や時間項目を自動生成して表示します。【例】年度・半期・四半期・時・分・AM/PM
	期間日付項目: C00-03_5 「◆期間日付の設定」を参照ください。
階層項目	C00-03_6 「◆階層項目の設定」を参照ください。
数値項目	数値属性の項目を一覧表示します。【例】売上金額・数量
計算式	C00-03_7 「◆計算式の追加」を参照ください。

◆ 期間日付の設定

システム日付を基に、当年/当月/当日などの集計期間を「期間日付」として準備します。設定は、クロス集計表画面の表組み画面でのみ行えます。

【例】期間日付を利用した集計表のイメージ

		1	2	3	4	5
		当日	当月	前月	当年	合計
1	広島	6636280	189268165	149244150	1923274590	2268423185
2	札幌	3691750	188281275	196581125	2222166550	2610720700

- ① メニューバー[ツール]-[期間日付の設定]をクリックします。

▼[期間日付の設定]ダイアログボックスが表示されます。



- ② [対象データ:]のドロップダウンリストから、期間日付として利用したい分析項目(日付型)を選択します。

- ③ [種類の指定]にて、集計表に表示させたい項目の[使用]列のをチェックオンします。[表示名称]で、任意の名称を入力できます。表示させる項目の並び順は、右横の[▲]、[▼]ボタンを利用して変更することができます。

- ④ [OK]ボタンをクリックします。

▼[分析項目]に「期間日付」(名称固定)として表示されます。(この項目はひとつだけ作成できます)

分析項目
年月
店舗名
分類名
期間日付

◆ 階層項目の設定

ドリルダウン分析のニーズに合わせて、使用頻度の高い階層構造を定義し、表の構成要素の一つとして登録しておきます。

- ① [階層項目]一覧の[新規登録]ボタンをクリックします。

▼[階層項目の定義]ダイアログボックスが表示されます。

階層項目の定義

項目一覧:

- 年月
- 店舗名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[年]
- 年月[半期]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]
- 年月[月]
- 年月[週(年)]

階層名称:

階層定義:

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

右の枠内へドロップ

新規 一覧へ反映

階層定義一覧:

No.	階層名称	階層定義
1	年階層	年月[年度] >> 年月[半期] >> 年月[月度]

削除 OK キャンセル

- ② [階層名称:]欄に、任意の名称を入力します。

- ③ [項目一覧:]欄から、階層にする項目を選択して、[階層定義:]欄にドラッグ&ドロップします。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数の項目を同時に選択できます。最大 8 階層まで設定できます。

階層項目の定義

項目一覧:

- 年月
- 店舗名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[年]
- 年月[半期]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]
- 年月[月]
- 年月[週(年)]

階層名称: 年階層

階層定義:

- 1 年月[年度]
- 2 年月[半期]
- 3 年月[月度]
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

右の枠内へドロップ

新規 一覧へ反映

階層定義一覧:

No.	階層名称	階層定義
1	年階層	年月[年度] >> 年月[半期] >> 年月[月度]

削除 OK キャンセル

- ④ [一覧へ反映]ボタンをクリックします。

▼[階層定義一覧:]に内容が表示されます。

階層項目の定義

項目一覧:

- 年月
- 店舗名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[年]
- 年月[半期]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]
- 年月[月]
- 年月[週(年)]

階層名称: 年階層

階層定義:

- 1 年月[年度]
- 2 年月[半期]
- 3 年月[月度]
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

右の枠内へドロップ

新規 一覧へ反映

階層定義一覧:

No.	階層名称	階層定義
1	年階層	年月[年度] >> 年月[半期] >> 年月[月度]

削除 OK キャンセル

- ⑤ [OK]ボタンをクリックします。

▼[階層項目]に設定した階層名称が表示されます。

階層項目

- 年階層
- 新規登録...

◆ 計算式の追加

数値項目を四則計算等で計算し、その結果を新しい数値項目として追加します。最大 16 個まで追加できます。

① [計算式]一覧の[新規登録]ボタンをクリックします。

▼[計算式の追加]ダイアログボックスが表示されます。

計算式の追加

計算式一覧:

No.	表示名称	計算式
1		
2		
3		
4		
5		
6		

数値項目(記号:名称):

N1数量
N2売上金額
N3粗利益
N4予算額
N5件数
N6行セル数
N7列セル数

() 7 8 9 /
4 5 6 *
1 2 3 -
関数挿入 0 . +

計算例
売上金額の5%を整数以下切り捨てた値を求める計算式
> TRUNC([売上金額]*0.05,0)

※数値項目は、記号または名称を[]で囲んで指定

削除 OK キャンセル

② [表示名称]欄に、任意の名称を入力します。

③ [計算式]欄に、計算式を入力します。

数値項目(記号:名称):

N1数量
N2売上金額
N3粗利益
N4予算額
N5件数
N6行セル数
N7列セル数

() 7 8 9 /
4 5 6 *
1 2 3 -
関数挿入 0 . +

計算例
売上金額の5%を整数以下切り捨てた値を求める計算式
> TRUNC([売上金額]*0.05,0)

- 計算式に利用できる数値項目(記号や項目名称)
 - 優先演算子(括弧)
 - 組み込み関数
 - テンキー(数字)
 - 四則演算子
- これらを利用して計算式を設定します。

▼[計算式]欄に計算式が表示されます。

計算式の追加

計算式一覧:

No.	表示名称	計算式
1	達成率	[売上金額]/[予算額]
2		
3		
4		
5		
6		

数値項目(記号:名称):

N1数量
N2売上金額
N3粗利益
N4予算額
N5件数
N6行セル数
N7列セル数

() 7 8 9 /
4 5 6 *
1 2 3 -
関数挿入 0 . +

計算例
売上金額の5%を整数以下切り捨てた値を求める計算式
> TRUNC([売上金額]*0.05,0)

※数値項目は、記号または名称を[]で囲んで指定

削除 OK キャンセル

④ [OK]ボタンをクリックします。

▼[計算式]に設定した表示名称が表示されます。

計算式

達成率

新規登録...



[計算式の追加]は集計表画面でも設定できます。但し、集計表画面で追加した計算式は、集計表に表示する操作が必要です。(メニューバー[表示]-[集計数値の表示設定])

2-3 予測値設定画面

年度単位の実績データから、当年度(システム日付の年度)、または翌年度の予測値を計算します。



設定時には、直近の過去 3 年(最大 5 年)の実績データが必要です。

予測値を表示する機能のため、この表示画面はテンプレートとして登録はできません。

- ① メニューバー[ツール]-[予測]をクリックします。(予測値設定画面の呼び出しはここからのみです。)

▼予測値設定画面が表示されます。



[日付項目]一覧に表示される項目は、自動日付項目で[年度]、または[年度]と[月度]の両方が揃っている日付データが対象となります。

- ② [分析項目]、[日付項目]、[数値項目]一覧から、配置する項目をそれぞれ[予測対象とする項目]、[日付項目]、[予測値の数値項目]欄に、ドラッグ & ドロップします。[分析項目]は、3 階層まで配置できます。
- ③ [予測対象年度]は、[当年度]か[翌年度]のどちらかを指定します。ここでは[当年度]を指定します。

▼予想対象の設定が表示されます。

- ④ <<予測実行の流れ>>の[年度予測の計算]ボタンをクリックします。

▼年度予測の計算結果が表示されます。

5 セルの背景色が黄色部分の[予測値]と[補正比率]は、直接入力が可能です。



表示される[予測値]、[補正比率]の算出方法はヘルプの<メモ>覧を参照してください。



表示された年度の予測値を各月度へ配分して表示することができます。また、最終的な予測値データをCSVファイルへ出力することもできます。

【予測値を月度へ配分】ボタン

[予測値の数値項目]で指定した日付項目が[月度]を持っている場合に利用できます。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	10月	11月
1 名古屋	137,462,975	176,130,663	229,167,850	166,156,329	178,139,341	150,826,814	21,213,983,052	19.53%						
2 東京(本店)	267,268,189	278,870,370	295,686,710	208,581,360	278,292,216	229,206,670	21,007,555,616	12.37%						
3 大阪	292,722,204	178,112,469	219,274,276	168,654,979	177,825,610	176,294,005	21,252,533,694	17.64%						
4 札幌	179,775,590	159,937,793	198,870,002	108,381,504	168,803,083	141,445,972	21,200,767,191	10.35%						
5 広島	109,092,199	156,190,037	176,930,913	140,057,924	155,889,507	146,758,290	21,194,201,740	19.32%						
6 横浜	195,292,428	165,578,012	212,870,435	157,687,135	183,338,270	179,189,955	21,220,810,458	22.54%						
7 合計	1,221,588,485	1,110,819,945	1,329,179,394	985,498,374	1,184,326,114	1,011,981,512	1,301,654,865	16.56%						

【CSVファイルへの出力】ボタン

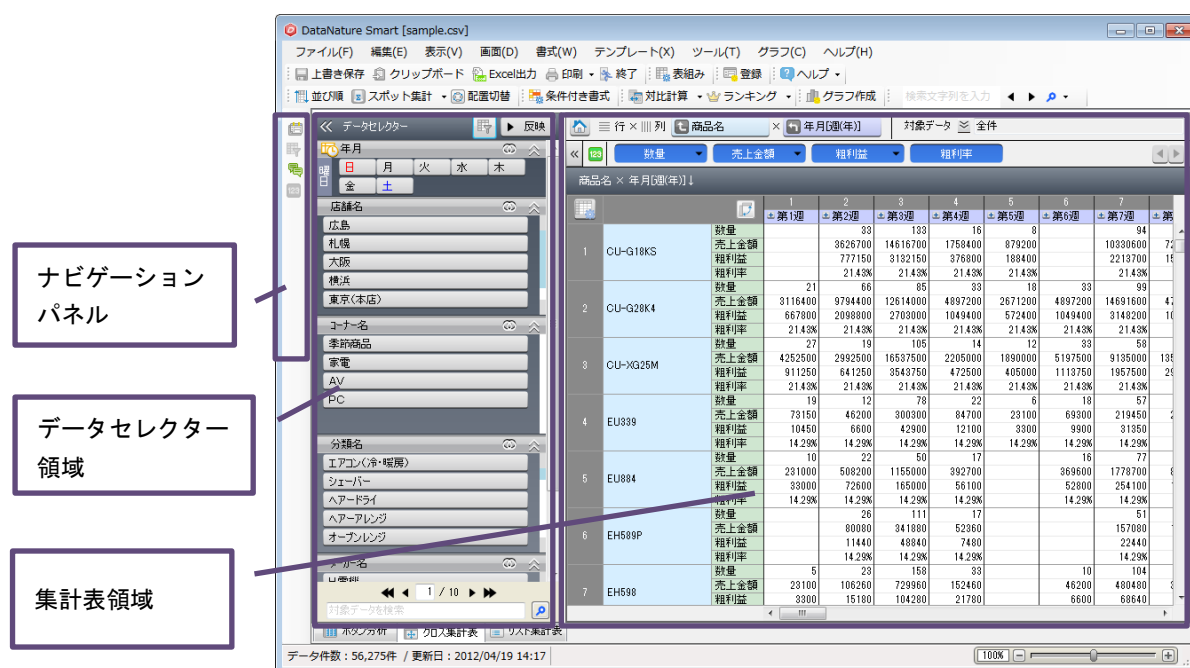
表示中の予測値データをCSVファイルに出力します。

このファイルを追加読み込みさせて、集計表で利用することもできます。

出力ファイル: 保存先フォルダーとファイル名を指定します。
出力先の項目: 作成した予測値データを既存の項目データに追加するか、新規項目として追加するかを選択します。

6 予測値の確認が完了すれば、[表組みへ戻る]ボタンをクリックします。
(予測値設定画面の終了はこの方法のみです。)

3. クロス集計表画面



クロス集計表画面は、次の要素で構成されています。

■ ナビゲーションパネル

画面操作をサポートする機能アイコンが並んでいます。クロス集計画面の集計表では、「テンプレート一覧」「データセクター」「コメント」「集計数値の表示設定」を利用できます。

■ データセクター領域

集計表の集計対象データを絞り込むための簡易ボタン画面を設定し、選択したボタンで再集計を行います。

■ 集計表領域

クロス集計表を表示します。

3-1 画面について



- ①構成表示領域
- ②対象データ表示領域
- ③集計数値表示領域
- ④表題領域/単位表示領域
- ⑤行項目、列項目表示領域
- ⑥集計項目表示領域
- ⑦集計値表示領域、合計欄

①構成表示領域

クロス集計表の行/列の項目名称⑤を表示します。階層付きクロス集計表では、ドロップダウンリストで階層項目を表示し、ドリルアップ操作することもできます。

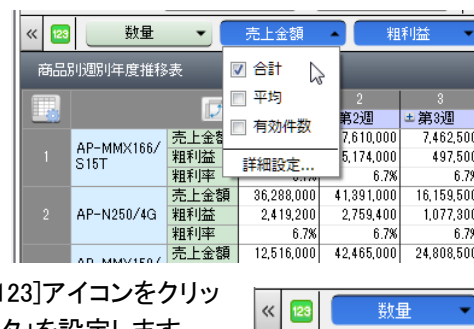
②対象データ表示領域

集計対象データを表示します。情報が多い場合は、 ボタンをクリックすることで表示領域が広がります。

**③集計数値表示領域**

集計項目表示領域⑥に表示される数値項目をボタンで表示します。選択時(青色)は集計表に表示され、解除時(薄緑色)は集計表から表示が消えます。

数値項目の[▼]ドロップダウンリストから、集計方法を追加・変更できます。[詳細設定]をクリックして、その他の集計方法を指定することもできます。



この領域③に表示されていない数値項目を追加する場合は、左側の[123]アイコンをクリックし、[集計数値の表示設定]ダイアログボックスで、「表示する対象データ」を設定します。

左端の[<<]ボタンをクリックすると、この領域③を非表示にします。再表示する場合は、ナビゲーションパネルにある[123]アイコンをクリックします。

④表題領域/単位表示領域

表題が表示されます。この領域④で右クリックして表示される

[表題の設定]ダイアログボックスで任意の表題を設定できます(メニューバー[書式]-[表題の設定])。

<今月><今日>といった定義をおこなうと、システム日付から該当日付に変換して表題に表示できます。

数値項目の単位調整を行っている場合は、右端に単位が表示されます。



⑤行項目、列項目表示領域

行項目(水色)と列項目(薄紫色)を表示します。

階層付きの集計表で階層展開表示が有効な場合は、行/列項目のデータ名左上の[+]アイコンをクリックすると階層が 1 項目ずつ展開され、[-]アイコンをクリックすると階層が 1 項目ずつ折りたたまれます。

右クリックして表示されるコンテキストメニューから「一括展開」や「一括折りたたみ」(最大 3 階層まで)が行えます。また、「データの並び順」から行や列項目データの並び順を変更できます。(階層展開表示が無効な場合は、項目名をクリックすることでドリルダウン操作が行えます。また「一括展開」や「一括折りたたみ」は利用できません。)

 [表組み]アイコンをクリックすると、表組み画面に遷移します。

 [行列切替]アイコンをクリックすると、行/列項目を入れ替えます。

			± 2011年度	± 2012年度
1	横浜	売上金額(合計)	398,625,500	398,625,500
		数量(合計)	2,716	2,716
		粗利益(合計)	36,625,620	36,625,620
2	広島	売上金額(合計)	375,904,020	375,904,020
		数量(合計)	2,560	2,560
		粗利益(合計)	33,520,120	33,520,120
3	AF-F70BP	売上金額(合計)	5,185,800	5,185,800
		数量(合計)	86	86
		粗利益(合計)	928,800	928,800
4	AF-F90BP	売上金額(合計)	6,391,800	6,391,800
		数量(合計)	106	106
		粗利益(合計)	1,144,800	1,144,800
5	AP-IPT166/	売上金額(合計)	6,720,000	6,720,000
		数量(合計)	20	20
		粗利益(合計)	448,000	448,000
6	AP-MMX150	売上金額(合計)	75,096,000	75,096,000
		数量(合計)	336	336
		粗利益(合計)	5,006,400	5,006,400
		売上金額(合計)	17,688,000	17,688,000
		粗利益(合計)		

⑥集計項目表示領域

数値項目と集計方法を組み合わせた“集計項目”(緑色)を表示します。例えば、売上金額の合計だけを集計するような数値項目と集計方法がひとつずつの場合はこの領域⑥が表示されません。

右クリックして表示されるコンテキストメニュー[集計項目の並び順]から“集計項目”の並び順を変更できます。また、「書式設定」-[数値の表示書式]から、集計項目の集計結果を表示する際の書式を設定できます。

 ツールバーの[配置切替]アイコンをクリックする毎に、“集計項目”を縦並びから横並びに、集計方法が複数の場合は数値項目と集計方法を分離して表示するように配置を切り替えることができます。

		± 2011年度	
	合計	累計	
横浜	売上金額	2200086	2200086150
	粗利益	354154	354153922

		± 2011年度	
	売上金額	粗利益	
横浜	合計	2200086	354154
	累計	2200086150	354153922

	± 2011年度		
	売上金額(合計)	粗利益(合計)	売上金額(累計)
横浜	2200086	354154	2200086150
広島	1955492	312122	1955491790
札幌	2277632	354836	2277632030
			354835770

また、右クリックして表示されるコンテキストメニュー[書式設定]-[文字の表示書式]から、領域⑤(行/列項目)と領域⑥(集計項目)のフォントなどの書式を設定できます。

⑦集計値表示領域、合計欄

集計値と行列の合計を表示します。

右クリックして表示されるコンテキストメニューから[合計欄の固定表示/固定表示解除]、[列合計の表示/非表示]、[行合計の表示/非表示]が行えます。

固定表示したい集計値セルで、「ウィンドウ枠の固定」をクリックすると、そのセルを起点に上側と左側を固定表示します。

[データリスト表示]では表示中の集計表を構成しているレコードを表示できます。また、「ソースビュー表示」ではメニュー実行時に対象となっていたセルに関連付くレコード情報を 100 件までポップアップ表示します。更に、ソースビューの対象データ全件を CSV ファイルへ出力し、そのまま DN クライアントで開くことも可能です。

		± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度	合計
1	横浜	売上金額(合計)	398,625,500	398,625,500	1,223,161,260
		粗利益(合計)	36,625,620	36,625,620	111,761,860
2	広島	売上金額(合計)	375,904,020	375,904,020	1,134,139,760
		粗利益(合計)	33,520,120	33,520,120	101,070,430
3	札幌	売上金額(合計)	404,400	404,400	1,227,515,130
		粗利益(合計)	35,900	35,900	108,891,950
4	東京(本店)	売上金額(合計)	532,400	532,400	1,592,484,030
		粗利益(合計)	50,500	50,500	150,267,120
5	名古屋	売上金額(合計)	324,000	324,000	959,329,740
		粗利益(合計)	31,300	31,300	92,753,180
6	大阪	売上金額(合計)	313,000	313,000	934,421,070
		粗利益(合計)	30,100	30,100	89,727,070
7	合計	売上金額(合計)	2,348,400	2,348,400	7,071,050,990
		粗利益(合計)	218,000	218,000	654,471,610

「表示オプション」について

メニューバー[表示]-[集計レイアウト]-[オプション]をクリックすると、[表示オプションの設定]ダイアログボックスが表示されます。クロス集計表の表示に関連する情報を設定します。

表示オプションの設定

合計欄の表示
 行の合計欄: ☒ 表示 ☐ 非表示 ☐ 常に表示
 列の合計欄: ☒ 表示 ☐ 非表示 ☐ 常に表示

			列の合計欄
	1,000	1,000	2,000
	2,000	2,000	4,000
行の合計欄	3,000	3,000	6,000

階層の展開表示
 展開形式: ☒ 標準 ☐ 親階層を小計として後ろに配置

親の階層	3,000
子の階層	1,000
子の階層	2,000

☐ 親階層を小計として前に配置 ☐ 親階層の集計値を隠す

親の階層	合計	3,000
子の階層		1,000
子の階層		2,000

親の階層	子の階層	1,000
	合計	3,000
子の階層		2,000

その他
☒ 列幅を自動で調整する
☒ 自動日付/時間項目を表示する
☐ 期間、月のデータ表示は実際のデータの有無を無視して、常に表示する
☐ 年のデータ表記を和暦に変換して表示する
☐ 期間のデータ表示では、定義した表記を使用する

自動日付/時間項目の種類設定...
 期間表記の定義...

OK キャンセル

＜合計欄の表示＞

行/列の合計欄の表示について、表示/非表示/常に表示の3種類から指定できます。集計表の右クリックメニューからも設定可能です。

＜階層の展開表示＞

階層を展開表示する際の表示パターンを標準/親階層を小計として後ろに配置/親階層を小計として前に配置/親階層の集計値を隠すの4種類から指定できます。

＜その他＞

列幅の調整や、日付/時間項目の表示に関する設定が行えます。

□自動日付/時間項目を表示する

日付型/時間型データから自動生成される項目を表示する場合、チェックオンします。また、[自動日付/時間項目の種類設定]ボタンをクリックすると、表示する日付/時間項目の種類を選択することができます。

3-2 主な機能

クロス集計表画面で行える主な機能について紹介します。

デーセクター	集計対象データを絞り込むための簡易ボタン画面を設定し、選択したボタンで再集計します。
条件集約	任意の条件に一致するデータを集約して表示します。
対比計算	データの対比が行えるように差異や比率を計算して表示します。
条件付き書式	設定した条件に該当するセルを、指定した書式で強調表示します。
ランキング	集計結果(集計値)を昇順または降順で並べたときの順位を、新たな数値項目列として表示します。
参照項目設定	参照項目と分析項目を組み合わせて、同一セル内に複数の項目名を表示します。
印刷/出力	集計表を印刷、または、他のアプリケーションのファイルとして出力します。

◆ データセレクトター

集計対象のデータを絞り込むための簡易ボタン画面を設定します。注目したいデータだけを絞り込み、再集計できます。

- ① ナビゲーションパネルにある[データセレクトター]アイコンをクリックします。

▼データセレクトター表示領域が表示されます。(再度、[データセレクトター]アイコンや[<<]ボタンをクリックするとデータセレクトターを閉じることができます)

店名	± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度	合計
1 ± 横浜	24352	24033	24477	72862
2 ± 広島	21719	21434	21568	64721
3 ± 札幌	21918	21488	21783	65189
4 ± 大阪	23063	22590	22591	68244
5 ± 東京(本店)	31463	30874	30527	92864
6 ± 名古屋	25324	24913	25046	75283
7 合計	147839	145392	145992	439163

- ② データを絞り込むための対象とする項目列を設定するには、表示領域の上部にある[セレクト項目の指定]アイコンをクリックします。

▼[セレクト項目の指定]ダイアログボックスが表示されます。

セレクト項目の指定

データ・セレクトターの各ページに表示する項目を指定します。

対象項目一覧:

- 年月
- 店名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名

ページに表示する項目:

6	7	8	9	10
1	2	3	4	5

1ページ

OK キャンセル

- ③ [対象項目一覧:]から、データの絞り込みに利用したい項目列を、[ページに表示する項目:]の枠内にドラッグ&ドロップで移動します。

▼指定した項目が[ページに表示する項目:]に移動します。

セレクト項目の指定

データ・セレクトターの各ページに表示する項目を指定します。

対象項目一覧:

- 年月
- 店名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名

ページに表示する項目:

6	7	8	9	10
1	2	3	4	5

1ページ

OK キャンセル

④ がついている日付/時間項目は、右端の[▼]ドロップダウンリストから、期間項目(今月度、上下期、曜日など)や時間の項目(AM/PM、時など)を追加できます。

登録日

(最大5つまで選択可)

- 今日
- 今月度
- 今年度
- 上/下期
- 四半期
- 月週
- 月度
- 登録日
- 年週
- 年度
- 日/ち
- 曜日



[ページに表示する項目:]には1～10までのページタブがあり、タブを切り替えて設定が行えます。1ページに8項目、最大80項目(10ページ×8項目)まで設定できます。

- ④ 設定後、[OK]ボタンをクリックします。
▼データセクター表示領域にセレクト項目が表示されます。

店舗名 ↓ × 年月[年度] ↓	1	2	3	4
± 2011年度 ± 2012年度 ± 2013年度 合計				
1 ± 横浜	24352	24033	24477	72862
2 ± 広島	1329711	21434	21568	1372713
3 ± 札幌	21918	21488	21783	65189
4 ± 大阪	23063	22590	22591	68244
5 ± 東京(本店)	31463	30874	30527	92864
6 ± 名古屋	25324	24913	25046	75283
7 合計	1455831	145332	145992	1747155

- ⑤ 絞り込みたいデータ(ボタン)を選択します。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数のボタンを同時に選択できます。※日付/時間型項目のデータは、[Shift]キーを利用した複数選択はできません。

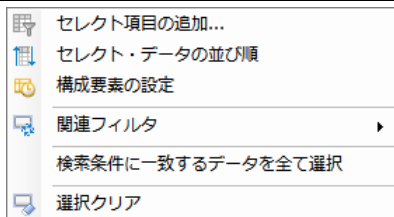
店舗名 ↓ × 年月[年度] ↓	1	2	3	4
± 2011年度 ± 2012年度 ± 2013年度 合計				
1 ± 横浜	24352	24033	24477	72862
2 ± 広島	1329711	21434	21568	1372713
3 ± 札幌	21918	21488	21783	65189
4 ± 大阪	23063	22590	22591	68244
5 ± 東京(本店)	31463	30874	30527	92864
6 ± 名古屋	25324	24913	25046	75283
7 合計	1455831	145332	145992	1747155

- ⑥ [反映]ボタンをクリックします。
▼絞り込んだデータを対象に、再度集計処理が実行されます。

店舗名 ↓ × 年月[年度] ↓	1	2
± 2012年度 合計		
1 ± 横浜	6591	6591
2 ± 東京(本店)	8485	8485
3 合計	15076	15076

: 標準モード ⇔ : 排他モード

“排他”モードにすると、選択したデータ(ボタン)を除外して再集計します。



データセクター表示領域内で右クリックするとコンテキストメニューが表示されます。

■ セレクト項目の追加

[セレクト項目の指定]ダイアログボックスを表示します。

■ セレクト・データの並び順

セレクト項目ごとに表示の並び順を設定できます。

■ 構成要素の設定

日付/時間型項目から追加セレクト項目を設定できます。手順③右欄と同様の設定です。

■ 関連フィルタ

ボタン選択したときの関連フィルタの動作 ([関連なし] または [絞り込み]) を設定します。

■ 検索条件に一致するデータを全て選択

セレクト項目内の検索をしている場合に、検索結果に該当するデータボタンを、メニューを実行した項目内で一括選択します。(日付や時間の項目は除きます。)

■ 選択クリア

選択中のボタンを全て解除します。



ボタン分析画面でデータボタンを選択してクロス集計表を作成した場合は、選択したデータボタンの項目をそのままデータセクター表示領域に再現して表示します。なお、関連モード(関連なし/絞り込み)と選択モード(標準/排他)もボタン分析画面から継承されます。

◆ 条件集約

任意の条件に一致するデータを集約します。例えば、集計された数値データ項目のランキング結果に対してベスト10以外の項目をまとめて表示することができます。

①



[条件集約]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[データの条件集約])

▼[データの条件集約]ダイアログボックスが表示されます。

No.	使用	表示名称	集約データ	参照する項目	条件
1	☐	その他	店舗名	売上金額(合計)	なし
2	☐	その他	商品名	売上金額(合計)	なし
3	☐	その他	年月[年度]	売上金額(合計)	なし
4	☐	その他	年月[月度]	売上金額(合計)	なし

②

[集計データの選択:]欄から、条件集約させたい分析項目列を選択します。

③

続いて、集約条件の種類やルールを指定します。

- 表示名称:
条件集約されたデータ項目の名称を入力します。
- 条件の種類:
条件の種類(ランキング結果による集約/数値条件による集約)をプルダウンリストから選択します。
また「☐このデータを常に最下部に表示」をチェックオンすると、条件集約されたデータは最下部に表示されます。
- 集約のルール
集約のルール(数値データ項目/集計方法/集約条件)を指定します。

4 設定後、[一覧へ反映]ボタンをクリックします。

▼[条件集約一覧:]欄に設定内容が表示されます。

条件集約一覧:

No.	使用	表示名称	集約データ	参照する項目	条件
1	☐	その他	店舗名	売上金額(合計)	なし
2	☒	その他	商品名	売上金額(合計)	ベスト 5以外
3	☐	その他	年月[年度]	売上金額(合計)	なし
4	☐	その他	年月[月度]	売上金額(合計)	なし

5 表示を確認したら、[OK]ボタンをクリックします。

▼設定した条件に該当するデータがまとめられます。

		1 ± 2011年度	2 ± 2012年度	3 ± 2013年度	4 合計
1	横浜	398,625,500	398,625,500	425,910,260	1,223,161,260
2	AP-MMX150...	68,838,000	68,838,000	74,425,500	212,101,500
3	AP-MMX166...	30,954,000	30,954,000	35,376,000	97,284,000
4	AP-MMX166...	68,058,000	68,058,000	75,520,500	211,636,500
5	AP-N250/2G	40,992,000	40,992,000	43,920,000	125,904,000
6	AP-N250/4G	64,638,000	64,638,000	66,906,000	196,182,000
7	その他	125,145,500	125,145,500	129,762,260	380,053,260
8	広島	375,904,020	375,904,020	382,331,720	1,134,139,760
9	AP-MMX150...	75,096,000	75,096,000	77,331,000	227,523,000
10	AP-MMX166...	61,491,000	61,491,000	81,789,000	204,771,000
11	AP-MMX200...	26,850,000	26,850,000	22,554,000	76,254,000
12	AP-N133/2G	30,720,000	30,720,000	29,760,000	91,200,000
13	AP-N250/4G	81,081,000	81,081,000	81,648,000	243,810,000
14	その他	100,666,020	100,666,020	89,249,720	290,581,760



「ランキング結果による集約」を行う場合、メッセージが表示されます。[はい]をクリックすると、自動的にランキング結果(数値データ順)に合わせてデータを並び替えて表示します。

データの条件集約

ランキング結果による集約の設定をボタンの並び順にも反映しますか?

◆ 対比計算

表示中の集計表を基に、指定した対比方法で差異や比率等を計算して表示します。対比計算の設定は、設定ダイアログボックスと対比計算専用のデータセクターを組み合わせで行います。

- 1 [対比計算]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[対比計算]-[設定])

▼[対比計算の設定]ダイアログボックスが表示されます。

対比計算の設定

対比方法: 対比方法の出カイメージは、ヘルプを参照してください。

対象データ

- 年月
- 店舗コード
- 店舗名
- コーナー名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[年]
- 年月[半年]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]
- 年月[月]
- 年月[週(年)]
- 年月[週(月)]
- 年月[日]
- 年月[曜日]

集計項目一覧

No.	集計項目	基準値	対照値	差異	対比率	増減率
1	売上金額	☒	☒	☐	☒	☐
2	数量(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
3	粗利益(合計)	☒	☒	☐	☒	☐

並び順設定...

比率の書式

有効桁数: 小数点以下 桁

マイナス表示:

☐ 対比で「今月」が指定された場合は、前月までを集計範囲とする

- ② [対比方法:]の[▼]ドロップダウンリストから、対比方法を選択します。

対比方法	対比対象	データセクターで指定するボタン	対比されるデータ
二項目対比	同一項目内の任意の2データ	任意の2データ	指定データのレコード、自動日付列、自動時間列
対前年(*別)	前年度と今年度	今年度の年	年度のレコード
対前月(*別)	前年度と今年度	今年度の月	年度のレコード
前年同月比(単月)	前年度と今年度	今年度の年と月度	年度のレコード
前年同月比(当月)		今年度の年と月日	指定した月日のレコード
前年同月比(累計)		今年度の年と月度	年度開始月から指定月までのレコード
前年同月比(累計)		今年度の年と月日	年度開始日から指定日までのレコード

- ③ [対象データ]欄から、対比計算の対象にする項目をひとつ選択します。

- ④ [集計項目一覧]の集計項目毎に、基準値・対照値・差異・対比率・増減率を表示するかどうか、指定します。表示する場合は、チェックオンします。

集計項目一覧

No.	集計項目	基準値	対照値	差異	対比率	増減率
1	売上金額(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
2	売上金額(累計)	☒	☒	☐	☒	☐
3	粗利益(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
4	粗利益(累計)	☒	☒	☐	☒	☐

並び順設定...

- 差異 : 対照値-基準値
- 対比率: 対照値÷基準値
- 増減率: 差異÷基準値



[並び順設定]ボタンをクリックし、[並び順設定]ダイアログボックスで、集計項目の並び順を変更できます。

- ⑤ 必要に応じて、対比率・増減率に適用される[比率の書式]を設定します。

比率の書式

有効桁数: 小数点以下 桁

マイナス表示:

- 有効桁数: 小数点以下 1 桁～5 桁を選択します。集計表に“%”が表示されます。
- マイナス表示: 計算結果がマイナスの場合の書式を選択します。



基準値・対照値・差異の書式は、集計項目表示領域で右クリックして表示されるコンテキストメニューの[書式設定]-[数値の表示書式]から設定します。

- ⑥ 対比対象に月日を含む場合で「今月」が指定された場合に、今月を集計範囲に含めるかどうか、指定できます。今月を含まない場合は、「□対比で「今月」が指定された場合は、前月までを集計範囲とする」をチェックオンします。

- ⑦ [対比計算を実行]ボタンをクリックします。

▼「データセクターで対比させる対象データを選択してください。」のメッセージが表示されます。そのまま[OK]ボタンをクリックします。

データセクター: 対前年(月別)

前年: 2011年, 2012年, 2013年

今年: 2011年, 2012年, 2013年

店名: 売上金額, 粗利益

店名: 年月[月度]

1 2 3 4

4月度 5月度 6月度 7月度

クロス集計表

データセクターで対比させる対象データを選択してください。

OK

5	517668450	481450690
0	82773462	77516241
0	1512631050	1994081740
1	243468013	320984254
0	650255460	516705570
3	101147308	80472492
0	1803798210	2320503780
4	285401342	365873834
0	639902040	543128210
5	104150348	89474305
0	1828443720	2371571930
	298391803	387866108

- ⑧ データセレクトから、対象データを指定して、[反映]ボタンをクリックします。
- ◆二項目対比の場合：対象データの選択順で基準値→対照値の指定となります。
 - ◆二項目対比以外の場合：対照値となる対象データのみ指定します。
- ▼対比計算の集計表が実行されます。

		4月度	5月度	6月度
1	横浜			
	売上金額(合計):2011年度	219608010	155098625	182401455
	売上金額(合計):2012年度	221400705	154502460	219608010
	売上金額(累計):2011年度	219608010	374706635	557108090
	売上金額(累計):2012年度	221400705	375903165	595511175
	売上金額(累計)差異	1792695	1196530	38403085
2	広島			
	粗利益(累計):2011年度	36030276	60376837	86869084
	粗利益(累計):2012年度	31608597	60986467	97016743
	粗利益(累計)差異	-4421679	609630	10147659
	売上金額(合計):2011年度	199970000	132653000	121476760
	売上金額(合計):2012年度	149244150	189268165	199970000
	売上金額(累計):2011年度	199970000	332623000	454099760
	売上金額(累計):2012年度	149244150	338512315	538482315
	売上金額(累計)差異	-50725850	5889315	84382555
	粗利益(累計):2011年度	32625917	53315776	72336906
	粗利益(累計):2012年度	23008820	54291544	86917461
	粗利益(累計)差異	-9617097	975768	14580555



表示されるデータセレクト（ページ 0）は、対比計算専用のデータセレクトです。対比方法に応じて表示内容が異なります。通常のデータセレクト（ページ 1～10）を併用することができます。



対比計算された集計表を解除する場合は、対比計算アイコンをクリックします。（メニューバー[ツール]-[対比計算]-[解除]）

◆ 条件付き書式

設定した条件に該当するセルを、指定した書式で強調表示します。

- ① [条件付き書式]アイコンをクリックします。
（メニューバー[書式]-[条件付き書式の設定]）
- ▼[条件付き書式の設定]ダイアログボックスが表示されます。



- ② [新規条件]ボタンをクリックします。

- ③ [設定方法:]から、[集計項目に対する設定]か[条件式による設定]を選択します。

▼[集計項目に対する設定]の場合:[条件の種類:]を、指定した値を選択します。種類に応じて[条件の値]を設定します。

▼[条件式による設定]の場合:集計項目に対して、四則演算子/優先演算子(括弧)/テンキーを利用して任意に条件式を設定します。

- ④ [書式]ボタンをクリックします。

▼[書式設定]ダイアログボックスが表示されます。

- ⑤ 文字列の修飾・背景色・枠色を設定して、[OK]ボタンをクリックします。

▼[プレビュー:]に設定した書式が表示されます。

- ⑥ プレビュー確認後、[OK]ボタンをクリックします。

▼[条件付き書式の設定]ダイアログボックスに戻り、[条件付書式の一覧]に設定した条件が表示されます。(最大 64 個まで設定できます)

No.	状態	表示対象	条件	書式
1	☒	全集計項目	集計値は、空欄	1,234
2	☒	行項目 + 集計セル	["売上金額"] < ("予算額") * 80%	1,234

- ⑦ [状態]欄のチェックボックスを確認します。チェックオンされている条件を集計表に反映します。確認後、[OK]ボタンをクリックします。

▼書式が反映された集計表が表示されます。

			1	2	3
			± 2011年度	± 2012年度	合計
1	± 広島	予算額(合計)	2015940000	1920080000	3936020000
		売上金額(合計)	1955491790	1923274590	3878766380
		粗利益(合計)	312121504	306703044	618824548
2	± 札幌	予算額(合計)	2216430000	22607717000	4824147000
		売上金額(合計)	2277632030	2222166550	4499798580
		粗利益(合計)	354835770	346544180	701379950
3	± 大阪	予算額(合計)	2315830000	2295700000	4611530000
		売上金額(合計)	2355278280	2289406140	4644684420
		粗利益(合計)	378521310	369968650	747489960
4	± 名古屋	予算額(合計)	2524700000	2551790000	5076490000
		売上金額(合計)	2260314270	2219207550	4479521820
		粗利益(合計)	369826464	363028574	732855038



[集計項目に対する設定]の場合、指定した集計項目の集計値セルのみを強調表示します。[条件式による設定]の場合は、強調表示の対象は行/列を単位とし、単一の集計項目のみを使った条件式でも、指定された集計項目の集計値セルのみを強調することはしません。



同一セルに複数の条件が合致した場合、[条件付き書式の一覧]の上から順に優先して適用されます。一覧表の並び順は右横の[▲][▼]ボタンで変更できます。



[条件付き書式の設定]ダイアログボックスで、[条件付き書式の一覧]から選択している条件に対して[条件の編集]や[条件の削除]が行えます。

◆ ランキング(順位)

集計表の集計結果(集計値)を昇順または降順で並べた場合のランキング(順位)を、新たな数値項目列として表示します。

①



[ランキング]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[ランキング]-[設定])

▼[ランキングの設定]ダイアログボックスが表示されます。

ランキングの設定

対象データの指定:

No.	表示	表示名称	数値項目	集計方法	条件	適用範囲
1	☐	予算額(順位)	予算額	合計	大きい値が1位	全体
▶ 2	☒	売上金額(順位)	売上金額	合計	大きい値が1位	全体
3	☐	粗利益(順位)	粗利益	合計	大きい値が1位	全体

表示方法

順位付けの方向: ☒ 行(縦)方向 ☐ 列(横)方向

配置の位置: ☒ 前へ配置 ☐ 後ろへ配置

表示イメージ:

	列項目	列合計
行項目	順位	集計値
行合計		総合計

OK キャンセル

②

順位を表示させたい集計値のチェックボックスをチェックオンします。

- ③ チェックオンした集計値の[条件]欄の[▼]ドロップダウンリストから順位付けのルールを、[適用範囲]欄の[▼]ドロップダウンリストから順位を表示する対象セルを指定します。

ランキングの設定

対象データの指定:

No.	表示	表示名称	数値項目	集計方法	条件	適用範囲
1	☐	予算額(順位)	予算額	合計	大きい値が1位	全体
2	☐	売上金額(順位)	売上金額	合計	大きい値が1位	全体
3	☒	粗利益(順位)	粗利益	合計	大きい値が1位	全体

条件は、大きい値が 1 位/小さい値が 1 位、適用範囲は、全体/集計欄/合計欄から指定できます。

- ④ 表示方法を指定します。ラジオボタンのチェックオンに連動して[表示イメージ]が変わります。

表示方法

順位付けの方向: ☒ 行(縦)方向
☐ 列(横)方向

配置の位置: ☐ 前へ配置
☒ 後ろへ配置

表示イメージ:

	列項目	列合計
行項目	集計値 ↓ 順位	
行合計		総合計

OK キャンセル

- ⑤ 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼新たにできた<*** (順位)>という集計項目に順位が表示されます。

			1	2	3	
			± 2011年度	± 2012年度	合計	
1	広島	±	予算額(合計)	2015940000	1920080000	3936020000
			売上金額(合計)	1955491790	1923274590	3878766380
			粗利益(合計)	312121504	306703044	618824548
			粗利益(順位)	4	4	4
2	札幌	±	予算額(合計)	2216430000	2607717000	4824147000
			売上金額(合計)	2277632030	2222166550	4499798580
			粗利益(合計)	354835770	346544180	701379950
			粗利益(順位)	3	3	3
3	大阪	±	予算額(合計)	2315830000	2295700000	4611530000
			売上金額(合計)	2355278280	2289406140	4644684420
			粗利益(合計)	378521310	368968650	747489960
			粗利益(順位)	1	1	1

配置切替アイコンをクリックすると順位の表示位置が変わります。

		1
		± 2011年度
1	± 広島	予算額(合計) 2015940000 売上金額(合計) 1955491790 粗利益(合計) 312121504 粗利益(順位) 4
2	± 札幌	2216430000 2277632030 354835770 3



ランキングの表示を解除する場合は、[ランキング]アイコンの[▼]ドロップダウンリストから[解除]をクリックします。(メニューバー[ツール]-[ランキング]-[解除])

◆ 参照項目設定

データ定義画面で設定した参照項目や分析項目を組み合わせ、同一セル内に複数の項目名を表示します。

①



[参照項目の設定]アイコンをクリックします。

(メニューバー[ツール]-[参照項目の設定])

※[参照項目の設定]アイコンがツールバーにないときには、「C00-00_3 ◆ツールバーのカスタマイズ」を参照してください。

▼[参照項目の設定]ダイアログボックスが表示されます。



参照項目として設定できるのは、データ定義画面で[参照項目]または[分析項目]として設定された項目で、かつクロス集計表の構成要素になっていない項目です。

②

[対象データ:]欄で、分析項目を、[▼]のドロップダウンリストから選択します。

③

[参照項目名:]欄で、対象データと関連付けたい項目を、[▼]のドロップダウンリストから選択します。

④

対象データと参照項目の配置を指定します。

▼設定内容が[配置サンプル]に表示されます。

⑤

設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼参照項目と分析項目がセル内に表示されました。

			1	2	3	4
			± 2011年度	± 2012年度	± 2013年度	合計
1	T002 横浜	予算額(合計)	210800000	174650000	135000000	520450000
		売上金額(合計)	219608010	221400705	136461780	577470495
		売上金額(平均)	787125	705098	640666	716465
		粗利益(合計)	36030276	31608597	25783370	93422243
2	T005 広島	予算額(合計)	189000000	143220000	155500000	487720000
		売上金額(合計)	199970000	149244150	157295285	506509435
		売上金額(平均)	760342	565319	686879	669986
		粗利益(合計)	32625917	23008820	25966974	81601711



参照項目表示を解除する場合は、[参照項目の設定]ダイアログボックスで、[対象データ:]欄の[▼]ドロップダウンリストから空欄(未定義)を選択して[OK]ボタンをクリックします。

◆ 印刷/データ出力

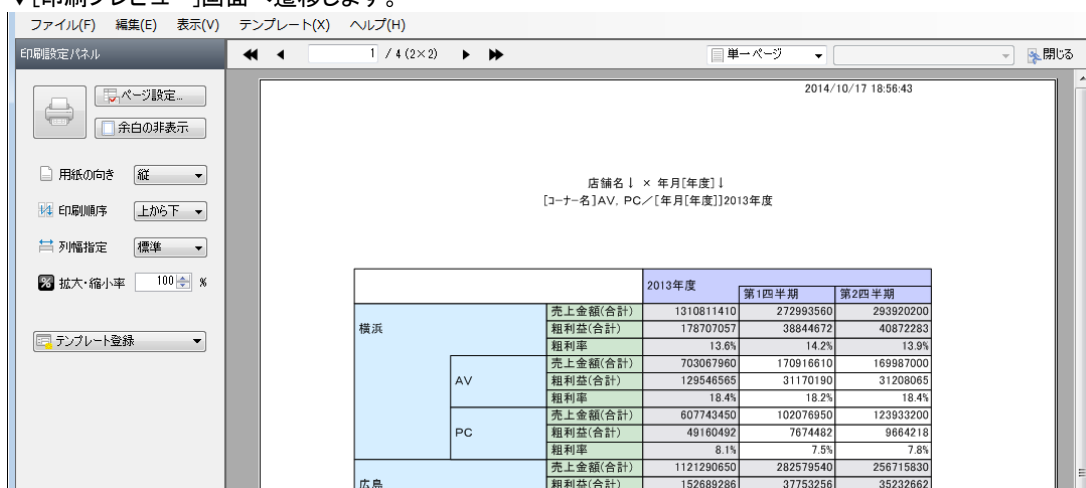
作成したクロス集計表を印刷、または他のアプリケーションファイルに出力することができます。
ここでは印刷と Excel 出力の手順を紹介します。

①



[印刷]アイコンの[▼]ドロップダウンリストから[プレビュー]をクリックします。
(メニューバー[ファイル]-[印刷]-[プレビュー])

▼[印刷プレビュー]画面へ遷移します。



集計表画面で表示している集計表がそのまま印刷対象となります。また、印刷されるフォントや罫線等のデザインも集計表と同じになります。なお、グラフが全画面表示になっている場合は、グラフをプレビュー表示します。

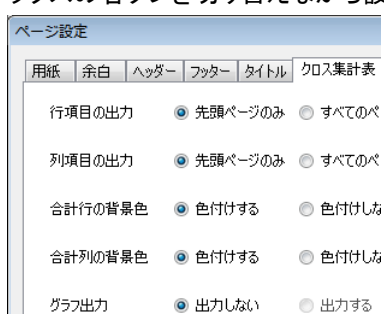
②

左端の[印刷設定パネル]に主な印刷の設定項目をまとめています。



[印刷実行]ボタン	印刷を実行します。
[ページ設定]ボタン	印刷設定の詳細を設定します。(下表参照)
[余白の表示/非表示]ボタン	余白の表示/非表示を切り替えます。[余白表示]で表示される余白線を利用して列幅を任意に調整できます。
用紙の向き	縦/横を指定します。
印刷順序	上から下/左から右を指定します。
列幅指定	標準/自動/任意を指定します。
拡大・縮小率	25%～400%で指定します。
[テンプレート登録]ボタン	印刷/PDF でテンプレートを登録します。

[印刷設定パネル]以外の詳細設定は、[ページ設定]ボタンをクリックして表示される[ページ設定]ダイアログボックスの各タブを切り替えながら設定します。



用紙	用紙の向き・印刷順序・拡大・縮小率印刷・センタリングの設定
余白	上下左右の余白・タイトル行の高さの設定
ヘッダー	ヘッダーを出力するページの指定・配置やフォントの設定
フッター	フッターを出力するページの指定・配置やフォントの設定
タイトル	主題、副題の指定・配置やフォントや表示方法の設定
クロス集計表	行/列項目の出力、合計行の背景色、グラフの出力指定

- 3  [印刷実行]ボタンをクリックして、印刷を開始します。
- 4 印刷設定の内容をテンプレートに登録する場合は、[テンプレート登録]ボタンをクリックし、[印刷]もしくは[PDF]を指定して登録します。
- 5 [閉じる]アイコンをクリックして、印刷プレビュー画面を閉じます。

▼集計表画面に戻ります。

		1	2	3	4
		2012年度			
			第1四半期	第2四半期	合計
1	札幌	売上金額(合計)	443192550	210787100	232405450
		粗利益(合計)	40266155	18876186	21389969
		粗利益(計算式)	9.1%	9.0%	9.2%
2	AV/パソコン	売上金額(合計)	239060050	115561100	123498950
		粗利益(合計)	17385835	8379146	9006689
		粗利益(計算式)	7.3%	7.3%	7.3%
3	ノートパソコン	売上金額(合計)	204132500	95226000	108906500
		粗利益(合計)	22880320	10497040	12383280
		粗利益(計算式)	11.2%	11.0%	11.4%
4	東京(本店)	売上金額(合計)	569761500	269731150	300030350
		粗利益(合計)	49821020	23450628	26370392
		粗利益(計算式)	8.7%	8.7%	8.8%



登録された印刷やPDF出力のテンプレートを
実行すると、[印刷プレビュー]画面ではなく、
[印刷]ダイアログボックスや[PDF ファイル出
力]ダイアログボックスが表示され、印刷実行
やPDF ファイルの保存が行えます。

- 6  続いて、[Excel 出力]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[Excel ファイル])

▼[Excel ファイル出力]ダイアログボックスが表示されます。

Excelファイル出力

出力ファイル:

出力範囲

☒ 集計表準拠 ☐ 階層一括展開 縦 2 × 横 2

☒ データのみ出力する
☐ データと書式を出力する
☐ Excelテンプレートを使用する

Excelテンプレートファイル:

Excel出力データ開始位置:

☐ 集計項目名を連続表示する

付加情報

☐ 表題文字列
☐ 対象データ情報
☐ 単位

OK キャンセル

出力ファイル	保存先フォルダーとファイル名を入力します。
出力範囲	集計表準拠/階層一括展開を指定
出力対象の指定	[○Excel テンプレートを使用する]を指定した場合は、適用する Excel テンプレートファイルを指定します。(事前に作成が必要です)
Excel 出力データの開始位置	空欄の場合は「A1」セルが開始位置になります。
集計項目名を連続表示する	連続表示する場合はチェックオンします。
付加情報	表示させたい情報にチェックオンします。



出力範囲で[階層一括展開]を指定した場合、[データと書式を出力する]を選択しても、出力結果は[データのみ出力]と同じになります。

- 7 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼確認メッセージが表示されます。

Excelファイル出力

 Excelファイル出力が正常に終了しました。
出力したファイルを開きますか？

はい(Y) いいえ(N)

- 8 [はい]ボタンをクリックします。
▼Excel ファイルが表示されます。

		A	B	C	D	E	F	G
		2012年度				合計		
					第1四半期	第2四半期		
1	札幌	売上金額(合計)	443192550	210787100	232405450	443192550		
		粗利益(合計)	40266155	18876186	21389969	40266155		
		粗利益(計算式)	9.1%	9.0%	9.2%	9.1%		
2	AV/パソコン	売上金額(合計)	239060050	115561100	123498950	239060050		
		粗利益(合計)	17385835	8379146	9006689	17385835		
		粗利益(計算式)	7.3%	7.3%	7.3%	7.3%		
3	ノートパソコン	売上金額(合計)	204132500	95226000	108906500	204132500		
		粗利益(合計)	22880320	10497040	12383280	22880320		
		粗利益(計算式)	11.2%	11.0%	11.4%	11.2%		
4	東京(本店)	売上金額(合計)	569761500	269731150	300030350	569761500		
		粗利益(合計)	49821020	23450628	26370392	49821020		
		粗利益(計算式)	8.7%	8.7%	8.8%	8.7%		



データ出力には[Excel ファイル出力]以外に、[クリップボード出力]、[テキストファイル出力]、[HTML ファイル出力]、[PDF ファイル出力]があります。

(メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[クリップボード]/[***ファイル])



メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[出力オプション]で表示される[データ出力オプション]ダイアログボックスでは、ファイルの種類毎に出力範囲や付加情報、外部アプリケーションとの連携用オプション等を設定することができます。

また、[データ出力ダイアログの設定値]でチェックオンしている状態が、各データ出力のダイアログボックスに反映されます。

データ出力ダイアログの設定値

- ☒ 前回の出力時に設定した内容を利用する
- ☐ このダイアログで設定した内容を利用する